

令和6年度（2024年度） 第1回社会教育入門講座

<事業報告>

I 事業の概要について

1 事業名

令和6年度（2024年度）第1回社会教育入門講座

2 開催日時

令和6年（2024年）4月26日（金） 15:30～17:00

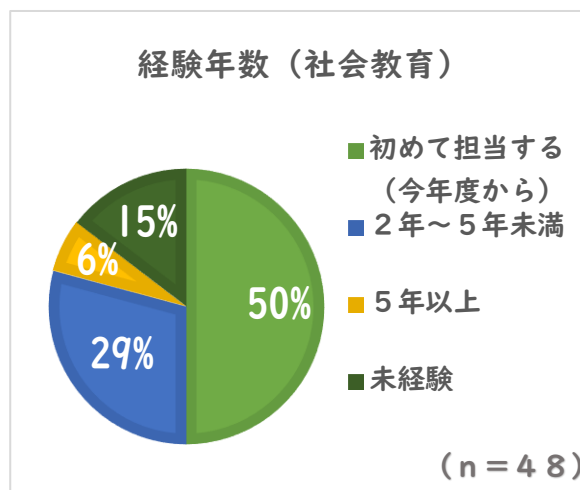
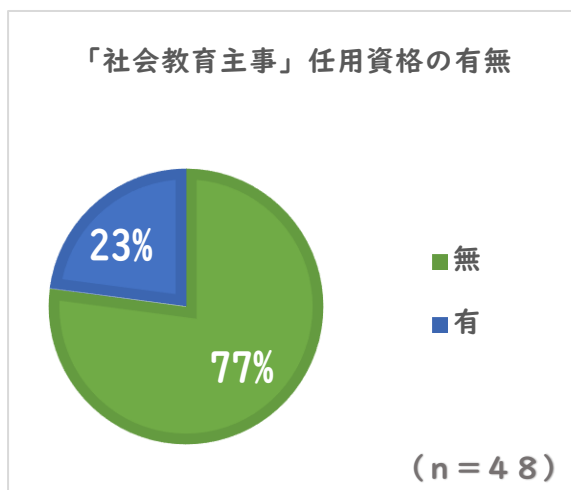
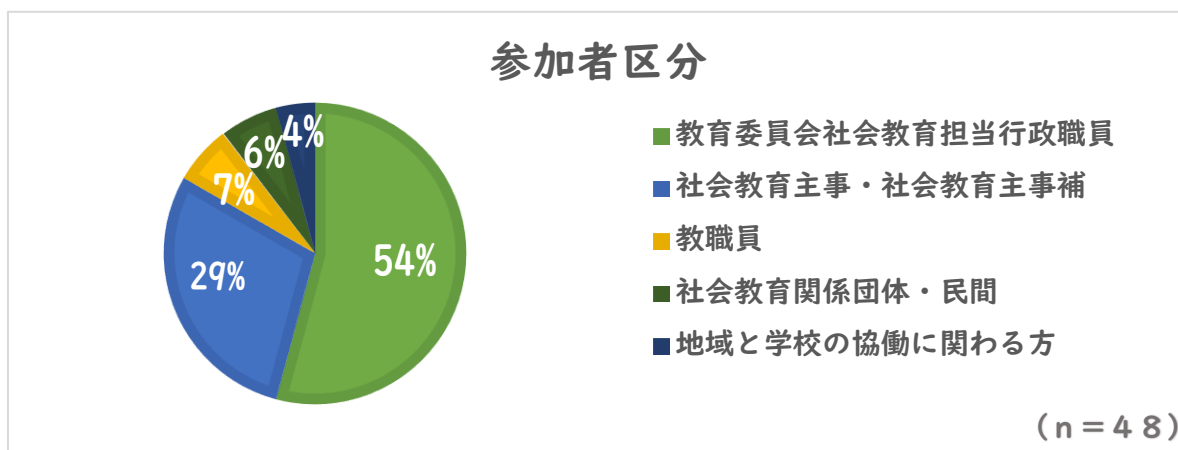
3 開催場所

Web会議システム（Zoom）によるオンライン開催

4 参加人数

69名

5 参加者属性（区分/「社会教育主事」任用資格の有無/社会教育の経験年数）



(次のページへ続く)

6 プログラム

15:20

15:30

16:30

17:00

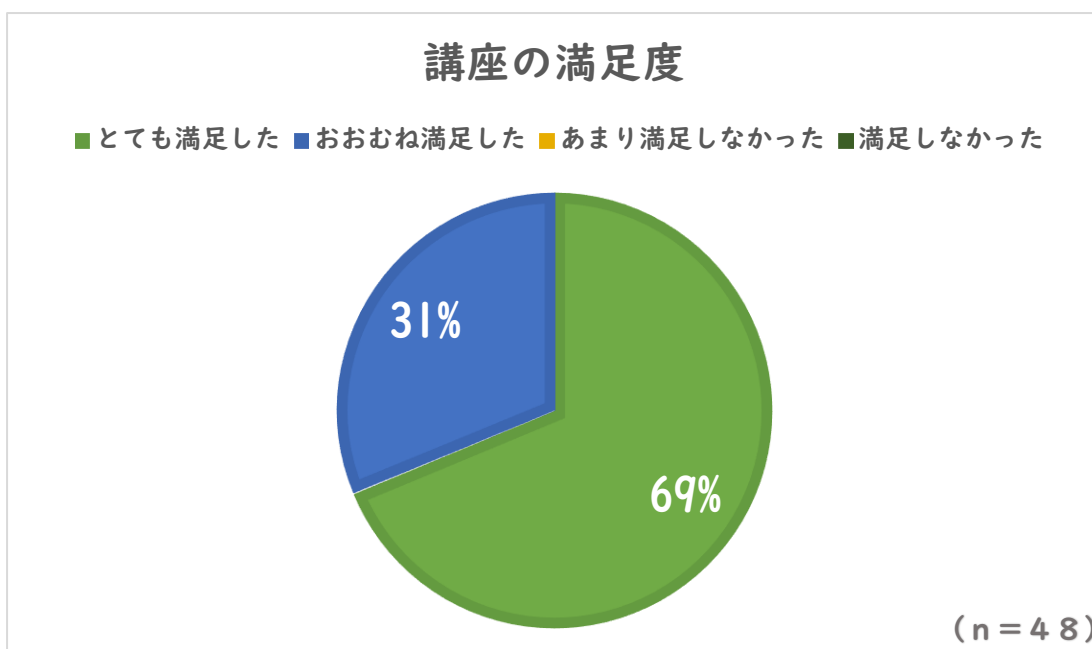
入室	講義	情報交流	閉会
----	----	------	----

講 義：「生涯学習・社会教育に関する基礎的事項と今日的な課題について」

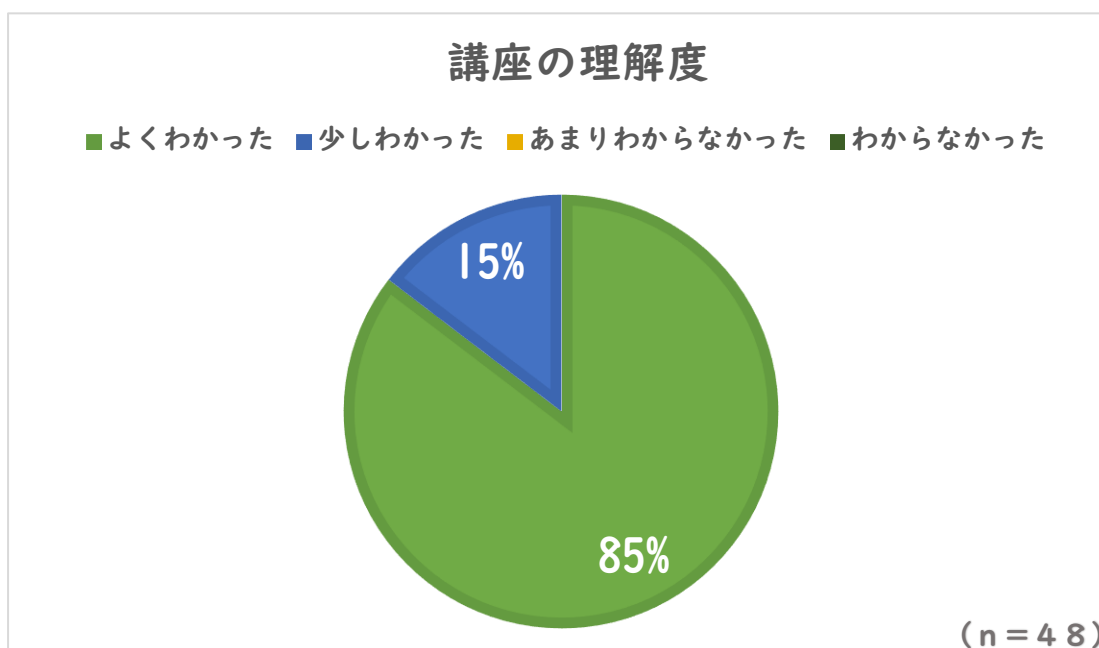
講 師：文教大学准教授 青山 鉄兵 氏

II アンケート結果

I 本講座の満足度について

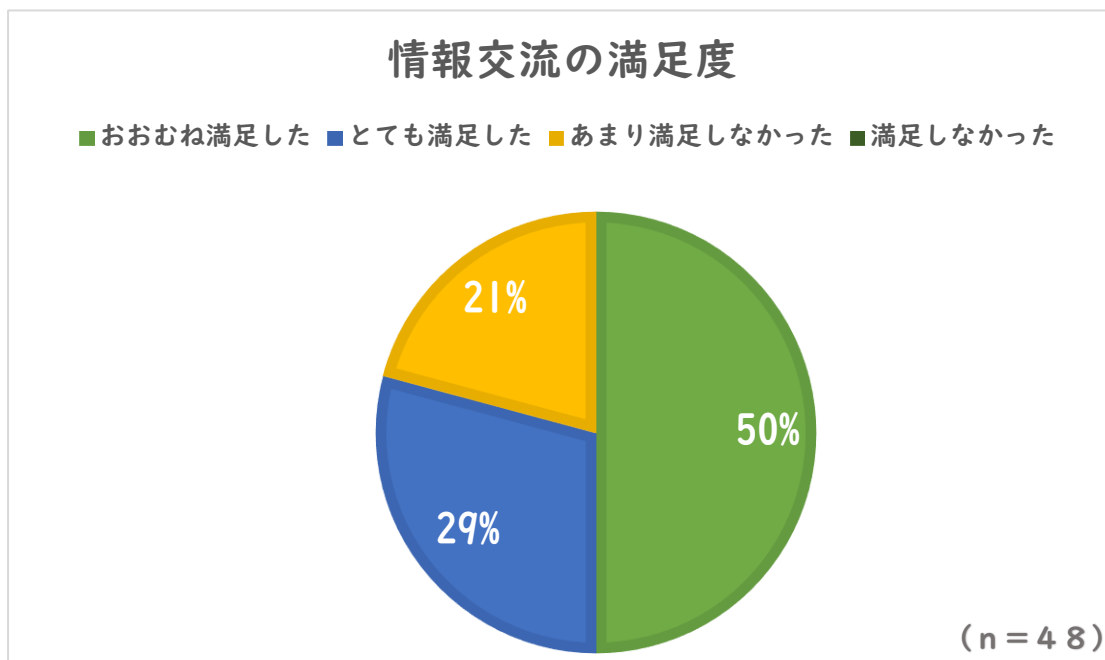


2 講義の理解度について

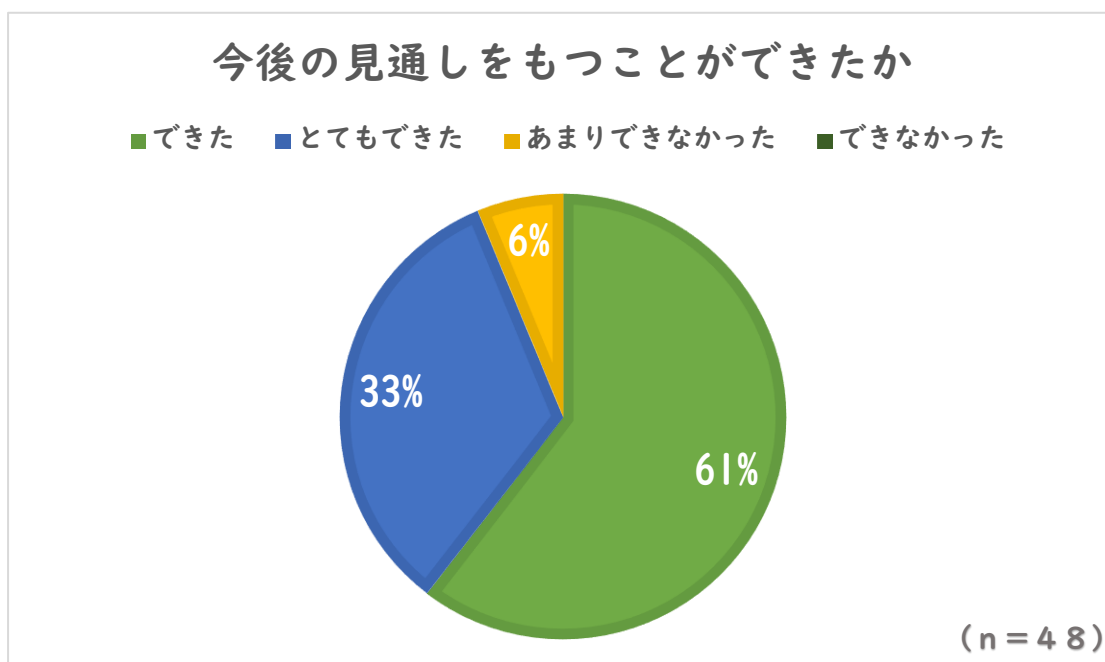


(次のページへ続く)

3 情報交流の満足度



4 講座全体を通して



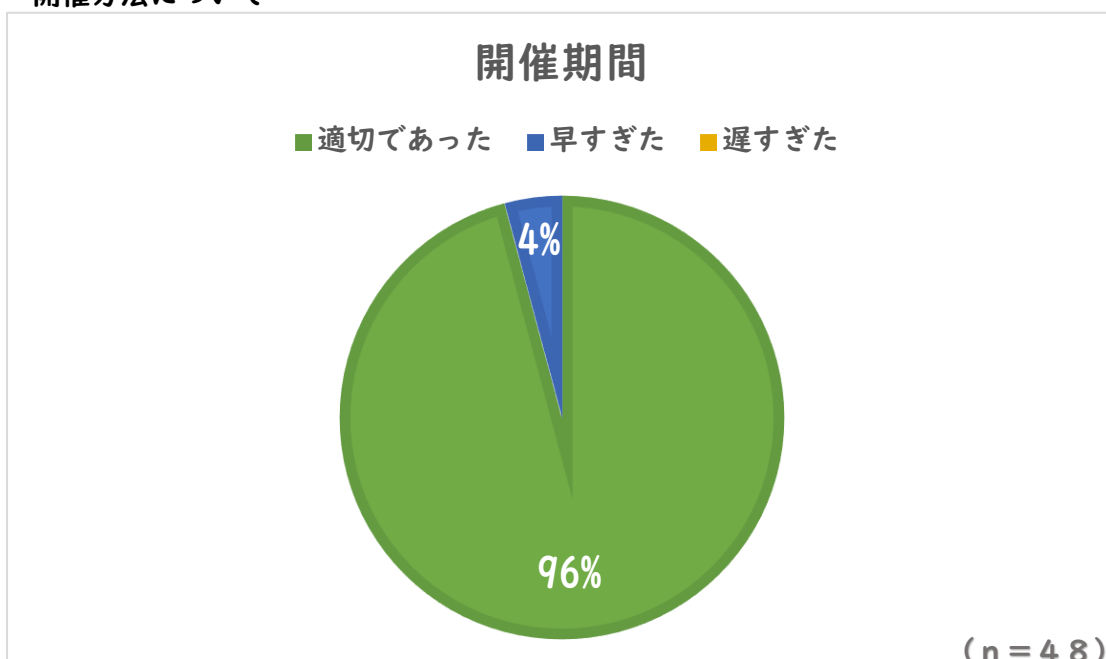
5 講座全体を通して気付いたこと、感想等 (自由記述)

- 生涯学習と社会教育の違いがよくわかった。
- 地域の雰囲気を感じとれるようにしたい。
- 生涯学習と社会教育について理解を深めることが出来た。
- 生涯学習は理念的なものだとわかった。
- 地域の方との対話を大切にしていきたい。
- 幅広く学習、教育を考えていこうと思える講座でした。ニーズに耳を傾けていきたい。
- 地域の施設の訪問や、関係者との連携を試みたい。

(次のページへ続く)

- 生涯教育・社会教育についてもっと調べようと思う。
- 心構えをこの連休でしっかり考えてみようと思った。
- 住民の方々により多くの学びの機会を提供できるようにしたい。
- 学び続けることが大切であるとわかった。
- 事業を検討していく中で必要な考え方（ニーズ①、ニーズ②）は、即実践していきたい。
- もっと地域の人との繋がりや生涯学習について理解を深めながら今後の業務に取り組んでいきたいと感じた。
- 地域住民のニーズと必要な学習とまず調べるところから始めたい。
- 人づくり、繋がりづくりを行って、地域づくりにつなげるのが社会教育なのだ改めて実感できた。
- 地域づくりのために社会教育があり、大切だということなのかなと思った。
- 中学校で教員をしていました。教育という言葉から、目に見える成果がないと教育の意味はないのではないかと考えていましたが、必ずしもそうではなく豊かに生きるために、学習者が自発的に取り組むこと自体が大切であることを学ばせていただきました。また、社会教育主事は、直接学習者に指導するのではなく、幅広い年代に幅広い学習機会を与えるととてもやりがいのある仕事だと感じました。町の特性を生かしながら、住民のニーズ①②に対応しながら、様々な事業に挑戦してみたいと思いました。
- 他業種の方（学校等）との連携が大切だと感じた。
- 学び直しもとっても大事ななと思いました。なかなかできないけど日々精進ですね。
- 主事講習を思い出しました。基礎だけに結構覚えていましたが改めて確認することができました。
- 私の地域は子供達と協力して行うイベントがあり、そのイベントの内容をまずは住民の方が学びたいこと、そして学んだ方が良いことを意識して計画を立てるようにしていこうと思いました。
- 生涯学習と社会教育の違いについて理解できた。
- 地域に何があるのか、地域住民のニーズ把握、行政側から伝えたいことを確認していく。

6 開催方法について



(次のページへ続く)

7 今後、当講座で取り上げてほしいテーマについて

- エリアで取り組む社会教育
- 各地域での生涯学習への取り組みについて
- 地域との繋がり方について
- 地域学校協働活動の事例について
- 学校教育と社会教育の連携、地域の関わり
- 道内、道外の自治体が行っている事業の交流
- 具体的な実践
- 社会教育課の中の周りの方々との協働の測り方について